スタートアップセミナー2023

先進研究分科会

ASGのメンバー募集案内

Advanced Study Group

木村 和生　総合企画委員長（東芝エレベータ）

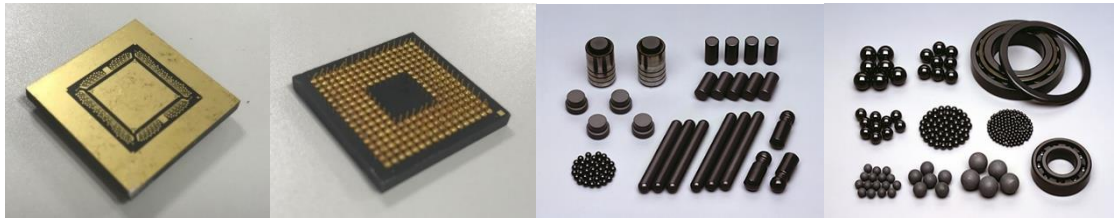
インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

私について

- 2016年　IVIに参画／パブリシティ委員(当時)としてスタート → 総合企画委員としてIVIメルマガ、シンポジウム運営などを担当

- 現職：東芝エレベータ　情報戦略システム部　DX推進担当　として「昇降機のDX」に従事
  実質は建設DX、新サービス創出 *by cloud*、設計・製造連携、DX人材育成ほか

- 職歴：
  1990～2000年　ファインセラミックスの材料・プロセスの研究開発(8年)＋製造技術(2年)[粉、泥、煤まみれ、IEマン]



2000～2010年　システムエンジニア：B2Bネット事業新規立上げ→CRM、モバイルソリューション
2010～2019年　スマートコミュニティ、M2M/IoT/DX　事業開発、商品企画、提案・PM・プロモーション **（工場IoTなど）**
2019年～現在　　昇降機メーカーとしてのIoT・DXを推進

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

総合企画委員会について

◆ミッション

1. 会員に対するサポート全般　（いわゆる　かけこみ寺）
2. 先進研究分科会の運営
3. IVIのプレゼンスの拡大・維持
4. 情報発信・広報　：ホームページ、プレスリリース、メルマガなど
5. 提携団体との共同事業の推進　：講演、出展、コンテンツ提供など
6. 公的外部資金獲得・渉外

◆体制・運営

10名＋事務局　（今後増強予定）
月1定例会　＋　公開シンポジウム準備時期は実行委員会と連携

◆お願い

会員の方も、そうでない方も、
「あれが足りない」、「これはいらない」、「こうしてはどうか」を忌憚なくお寄せください。　office@iv-i.org 宛

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

ASG：先進研究分科会　とは　　Since 2018

◆コンセプト

業務シナリオWGは現場のニーズ起点
ASGは解決のシーズ起点
} 卓越したニーズとシーズをマッチングさせて「ものづくり」を高度化する

IVI規則011　先進研究分科会(ASG)活動に関する規則　より
第２条（定義）
ASG は、新しい技術やソリューションに関して、実際の機能検証や適用先の検討は、これからというものを対象に、情報や知見を得るための活動を行うための組織である。

◆運営原則

1. 活動は原則1年間、最大3年間
2. 開始時期は4月～1月　（年度末は不可）
3. 5名以上で構成（主査1名、副査1名含む）
4. 正会員が設置を提案、総合企画委員会で審査・承認
5. 会員一人が参加できるのは3つのASGまで
6. 個人会員も参加可能
7. 賛助会員はオブザーバー参加のみ
8. 必須事項：年5回以上開催、報告書提出、成果発表
9. 予算 20万円/年　会場費、講師謝金など

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

これまでの活動

ASG-	分科会名	ステータス	成果物公開
001	IoTと管理会計	終了	ホワイトペーパー
002	データオーナーシップ	終了→ASG-022で継続	ホワイトペーパー
003	経営と現場をつなぐKPI	終了	ホワイトペーパー
004	スマート製造標準化動向	終了	ホワイトペーパー
005	AI深層学習応用	終了→ASG-021で継続	ホワイトペーパー
006	ブロックチェーン活用	終了	
007	次世代BOM・BOP	終了	ホワイトペーパー
008	身の丈ロボット	終了	ホワイトペーパー
009	ラズパイ徹底活用	終了	
010	3Dプリンタビジネスモデル	終了	
011	5G先進活用	終了→ASG-023で継続	ホワイトペーパー
012	センサーデータ活用技術	終了→ASG-020で継続	
014	ARデバイス活用	終了	
015	オープン&クローズ戦略	終了	ホワイトペーパー
016	リアル/バーチャル融合検証システム	終了	
017	汎用マイコン研究	終了	
018	After/Withコロナ・New Normal を勝ちゆく新時代型SCと企業連携	終了	
019	バリューチェーンとRule戦略を組合わせたビジネス戦略研究分科会	終了	
023	産業用5G研究分科会	終了	

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

ASGアワード

◆第1回ASGアワード　2022年6月9日公表

優秀な成果を残した分科会を表彰
対象：22グループ　（2018年以降）

優秀賞　ASG-005：AI深層学習応用研究分科会

受賞理由：業務シナリオWGやほかのASGと連携して時系列データ解析を実施したことなどを評価しました。また人工知能学会誌（Vol.37 No.3 (2022/5)）にも論文が掲載されるなど、IVI外部での活動も評価のポイントでした。

特別賞　ASG-004：スマート製造標準化動向研究分科会

受賞理由：IVIの枠を超えてIEC/SyC Smart Manufacturing国内委員会との意見交換を実施したことや、全160ページのホワイトペーパーを纏め上げたことなどを評価しました。

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

On Going

ASG-	分科会名	ステータス	成果物公開
020	**次世代センシングメソッド創成、創出研究分科会**	募集中	報告書

活動方針・目標

1. IVIの真髄である『現場の困りごと解決へのIT/IoTの活用』に向けて、「現場で何をどのようにセンシングして、そのデータをどう活用すれば困りごとが解決できるか」を追究する。
2. IE的発想によるさまざまなセンサーデバイスのユースケース発掘（ディスカッション）
3. IVI業務シナリオWGに生かせるセンサーデバイスの研究と活用事例整理(資産化)
4. センサー活用を発展させたコンポーネントの創成、創出を企業間の垣根を越えて情報交換し、成長し続ける研究会活動を行う

今年度の展開

業務シナリオWGやASG全体として活用できる最新トレンドに関する講演
＋講演後の徹底議論を講師にぶつけるパネルディスカッション（これ自体をメタバース内で行うことを企画中）

オープンイノベーション、産業用メタバースとＡＩのデジタルツインで新たなビジネス展開を!!

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

On Going

ASG-	分科会名	ステータス	成果物公開
021	**AI･データ分析活用研究分科会**	募集中	

活動方針・目標

1. データ分析技術の深化と実践をターゲットとする
2. 深層学習に限定せず、古典的統計解析から波形解析、画像解析など対象に特化した解析技術を含め、課題解決に必要な技術の活用およびその深化を対象とする
3. 分析手法の高速化等を含めた実装技術についても活動の対象とする
4. CIOFの枠組みを活用したエッジコンピューテイング向けAPI実装も進める
5. データ分析を専門とする外部講師による勉強会も開催したい

今年度の展開

業務シナリオWG連携をさらに拡大する

特にデータ解析にご協力いただける方を中心に、アドバイスいただける方も含めて常時メンバー募集中

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

On Going

ASG-	分科会名	ステータス	成果物公開
022	**データ主権研究分科会**	募集中	報告書

活動方針・目標

1. IoT時代における現場データ（ディープデータ）の権利を守りつつ活用推進を図るため、法的枠組みやビジネスモデルなどに関する議論を行い、IVIからの発信をまとめることを目的とする
2. 各社の状況をヒアリングし、ビジネス状況ごとの契約条項の内容について検討
3. 有識者の講演会を開催
4. 国内外の動向の調査により、データオーナシップに関する動向・課題・観点などについて知見を高める
5. 上記活動を通じて、IVIとして発信

今年度の展開

業務シナリオWG連携による新たな具体例におけるデータオーナーシップの検討
関連分野の有識者との意見交換など

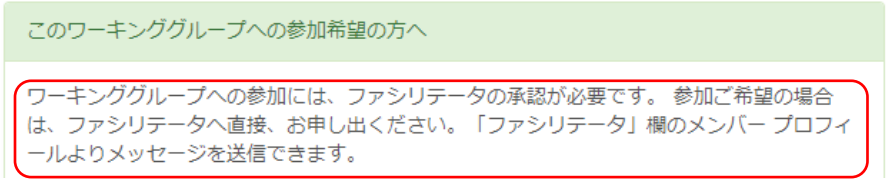
前提知識に依らず、興味ある方はどなたでも歓迎いたします

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

参加してみようかな　と思いたったら

会員の方

メンバーホームページから



非会員の方

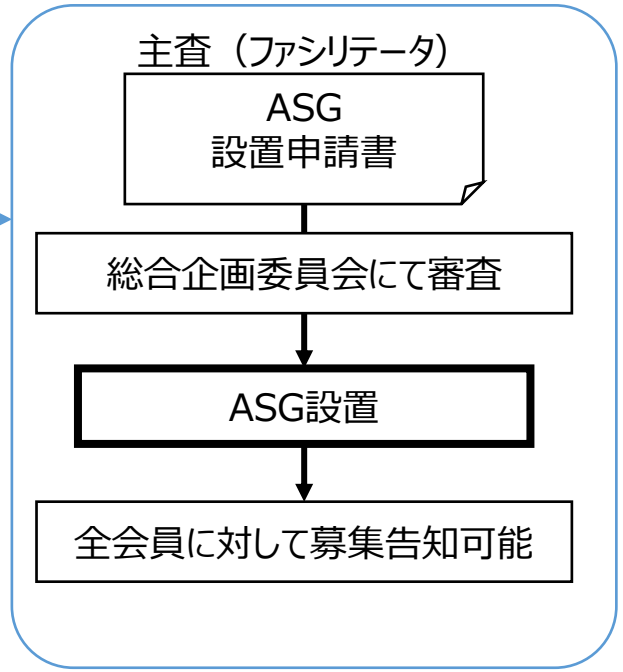
IVI事務局へ　office@iv-i.org

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

新たにテーマを起こしたい場合（会員の方向け）

◆運営原則　再掲

1. 活動は原則1年間、最大3年間
2. 開始時期は4月～1月　（年度末は不可）
3. 5名以上で構成（主査1名、副査1名含む）
4. 正会員が設置を提案、総合企画委員会で審査・承認
5. 会員一人が参加できるのは3つのASGまで
6. 個人会員も参加可能
7. 賛助会員はオブザーバー参加のみ
8. 必須事項：年5回以上開催、報告書提出、成果発表
9. 予算 20万円/年　会場費、講師謝金など



(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

ASGの明日

◆お願い　：　積極的に参画ください

１．まず関心領域の門をたたく【好奇心】

２．自ら立ち上げる【実践＆巻き込む→ひろがる】

３．調査・議論してムーブメントを創る【そしてそれを現場へ】

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative

CIOF Partners

つながるものづくり、つなげる未来

IVI Industrial Value Chain Initiative

(C) 2023. Industrial Value Chain Initiative